学校番号	１２０６

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）くらしと保育Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	保育基礎（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◆親権者や保育者の目線で「保育学習」に取り組んでみよう。
・子どもの身体的・精神的発達や子育て支援に関して、関心をもち、意欲的に学びましょう。
・子どもの発達や保育に関する知識・技術を身につける努力をしましょう。
・子どもを取り巻く環境に課題を見いだし考えを深め、自身の考えを、積極的に表現しましょう。
・折り紙やフェルトなど、身近なものを用いて、子どもの興味を引くおもちゃを作成してみよう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
　子どもの発達や保育に関する知識・技術を身につけ、親権者や保育者の目線で子育て（保育）を考察する力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
　子どもの発達に応じて、社会的な面（医療や福祉、教育等）の子育て支援に寄与するため、今後、必要な思考力・判断力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　子どもを取り巻く家庭及び社会環境に課題を見出し、各々解決に向けての意欲を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育者として、子どもの発達の特性や子どもの生活や児童福祉に関する知識を身に着け、年齢に応じた子どもの発達に関する基本的な技術を身に着けている。	子どもの発達や子どもの生活、文化、さらに児童福祉について、その現状を踏まえて、さらに子どもたちを取り巻く環境の中から課題を見つけ、その解決方法を考え、適切に判断し、創造する能力を養う。	保育者として、現在の子どもを取り巻く環境（生活や福祉の面など）について、課題を見つけ出し、その課題を解決するための手法（行動）を考察し、最終的に適切だったかどうか、判断する能力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの発達	オリエンテーション ・前年度の振り返り ・「保育」とは ・子どもの発育と発達 ・子どもの精神発達 (作品作成:おりがみ)	a: 乳幼児の発達や発育の特徴や年齢に応じた保育環境について理解している。 b: 乳幼児の発達に応じた素材を用い、子どもの興味関心をひく制作物ができる c: 乳幼児期における特徴や保育環境について理解を深めようとする意欲がある。	定期考査 制作物	ワークシート 実習進度表	プリント 授業観察
2学期	子どもの生活と福祉	・子どもの健康と生活 ・子どもの衣食住 ・子どもの健康と安全 ・子どもの福祉とは ・児童福祉の理念と制度 (作品制作:紙芝居)	a: 子どもの健康や栄養について理解しており、乳幼児の福祉制度についても理解している。 b: 乳幼児の発達に応じ、安全面に配慮した衣食住を提供できる。 c:子どもの行動パターンや感情表出などが推察でき、子どもの行動を理解しようとする意欲がある。	定期考査 制作物	ワークシート 実習進度表	プリント 授業観察
3学期	子どもの文化	子どもの文化 ・子どもの表現活動 ・子どもと遊び ・児童文化財と施設 ・おもちゃ作り (布で作ったサッカーボール、エプロンシアターなど) 学習のまとめ	a: 子どもの発達に応じ、安全でかつ子どもが興味関心を持つおもちゃづくりができる。 b: 年齢に応じた子どもの表現活動について、理解を深め、保育者として行動することができる。 c: 子どもの発達や子育てについて寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 ・	制作物	ワークシート 実習進度表	プリント 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度